

主要国のイノベーション・エコシステムの概要

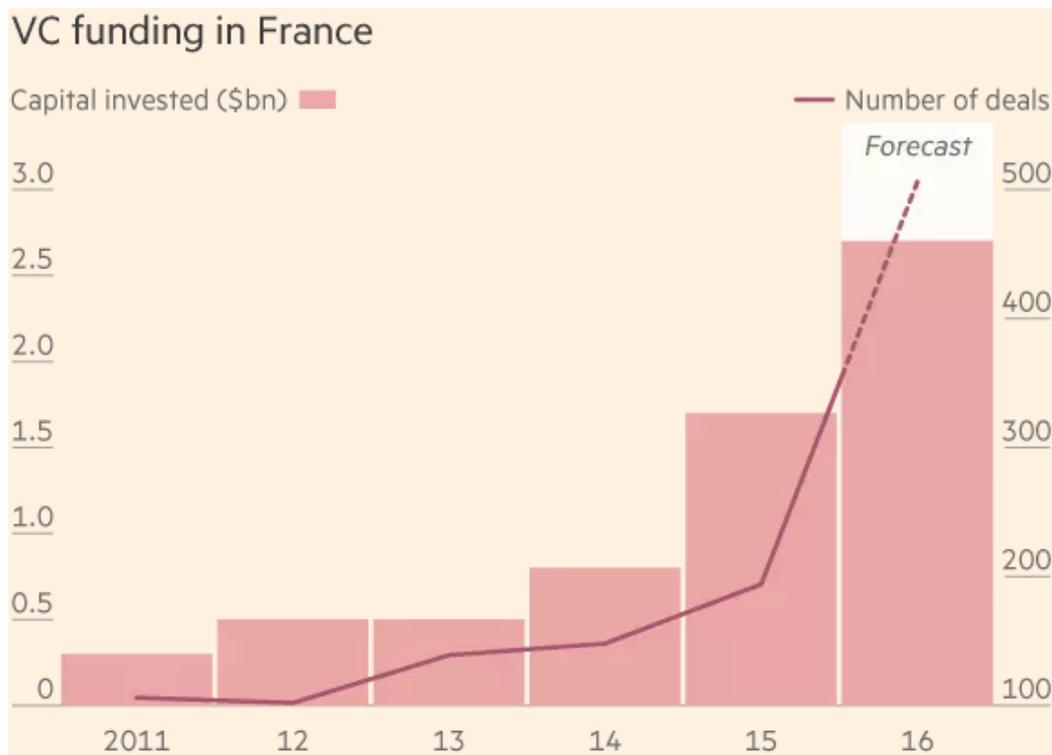
3. 仏パリ

3.1 スタートアップ・エコシステムの概観

近年、フランスでは、ライドシェアリングサービスを提供する BlaBlaCar が 10 億ドル以上の評価額をつけ、1 億 6000 万ドルの資金調達に成功するといったユニコーン企業が生まれ、スタートアップシーンが盛り上がってきている。こういった潮流に合わせて、フランスは政府主導で国を挙げて起業家が成長するスタートアップ環境を整備するための多くの施策を繰り広げてきた。中でも 2013 年に開始した、スタートアップ・エコシステムを発展させる取り組みである「La French Tech」のプログラムは大きな成功を収めている。

このような政府の取り組みに呼応するかのように、フランスでの資金調達件数及び調達額は年々増加傾向にあり、2016 年だけでも、前年度の 2 倍以上となる約 500 件の資金調達があった。また、M&A および IPO の点では、2015 年度では、M&A は 39 件で総額約 9 億ユーロである。また、デロイトトーマツ刊行の欧州中東アフリカ地域で成長している 500 のテクノロジー企業をまとめた「Deloitte Technology Fast 500 EMEA」のレポートでは、2015 年、フランス企業は 500 社の中で 83 社と世界で一番多いエントリー数を誇った。上記のような背景もあり、フランスは欧州の中でもイギリス、ドイツに次ぐテクノロジーハブであると注目を浴びている。

図表 1 フランスにおける VC による資金拠出額および件数の推移

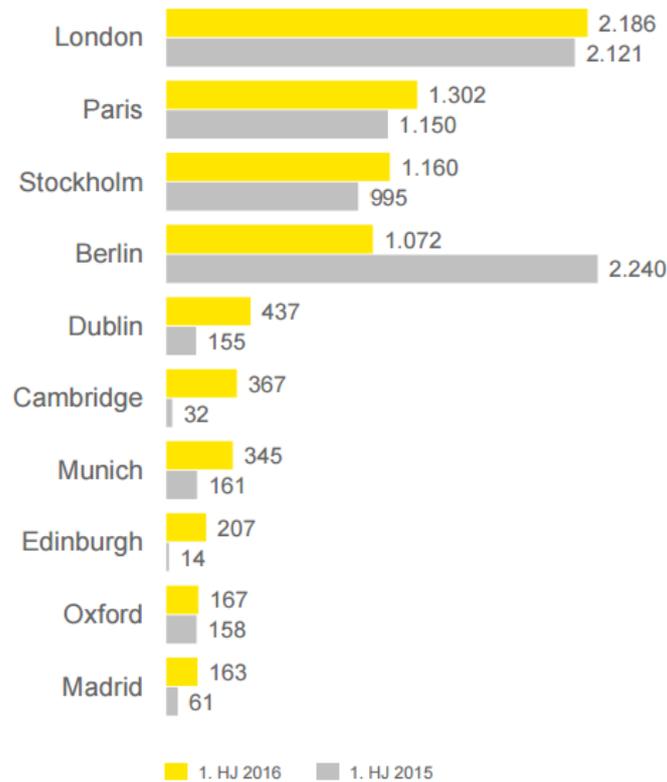


出所: Atomico¹

¹ <http://www.slideshare.net/AtomicoVentures/the-state-of-european-tech-2016-full-report?ref=http://www.atomico.com/>

さらに、Tech.EU およびアーンスト・アンド・ヤング(以下、EY)のレポートによると、2016年、フランスは投資件数では欧州一の300件を記録している(投資額はロンドンに次いで第2位)。また、2016年に欧州で最も投資をしたVCトップ5のうち、第1位はBpiFrance、第3位がkima venturesとフランスから2機関が入っており、スタートアップへの関心と投資活動が急激に高まりを見せている。

図表2 欧州の主要都市におけるスタートアップへの投資件数(2016年)



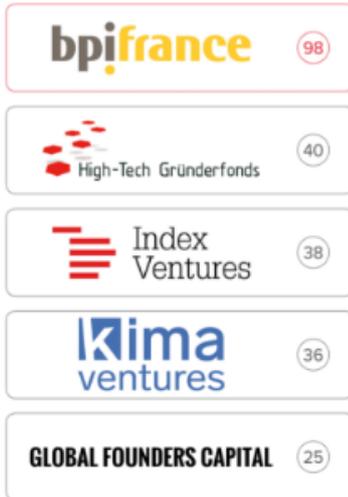
出所: EY²

² EY、[http://www.ey.com/Publication/vwLUAssets/ey-start-up-barometer-februar-2017/\\$FILE/ey-start-up-barometer-februar-2017.pdf](http://www.ey.com/Publication/vwLUAssets/ey-start-up-barometer-februar-2017/$FILE/ey-start-up-barometer-februar-2017.pdf)

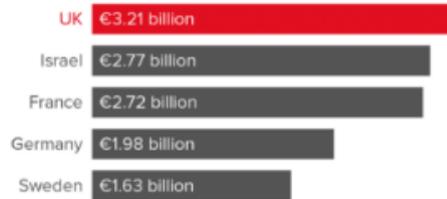
図表 3 欧州のスタートアップへの投資活動(2016年)

KEY TAKEAWAYS

Top investors by number of deals 2016



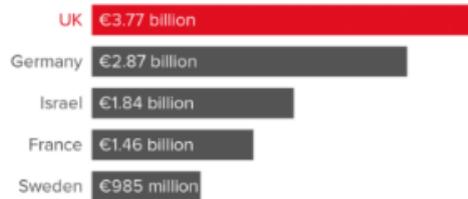
Top countries by investment volume 2016



Top countries by number of deals 2016



Top countries by investment volume 2015



Top countries by number of deals 2015



出所: techEU³

3.2 スタートアップ・エコシステムの特徴

パリのスタートアップ・エコシステムの特徴として、以下の4点が挙げられる。

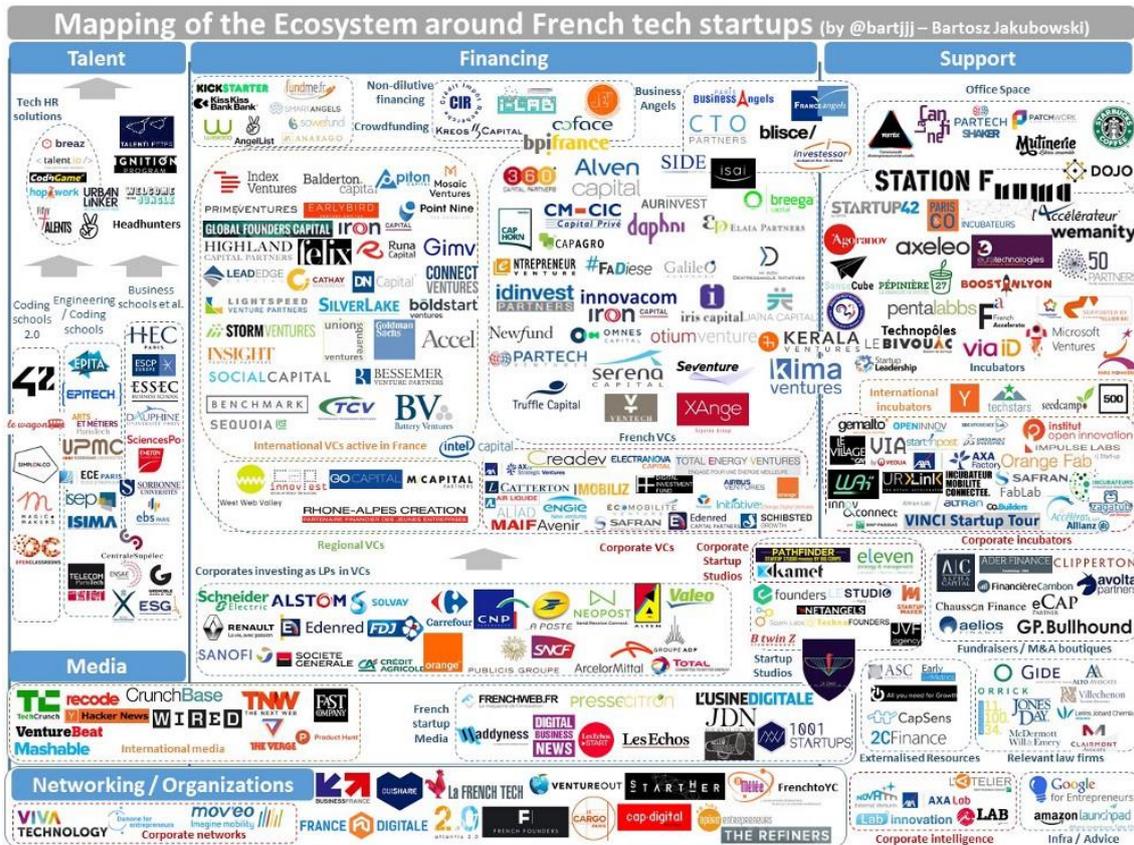
- (1) 優秀な人材のスタートアップへの流入
- (2) 豊富なスタートアップ向けのファイナンスの機会
- (3) スタートアップをサポートする支援機関の台頭
- (4) 仏政府によるスタートアップ・エコシステムの促進策

スタートアップ・エコシステムを牽引する優秀な人材は国内の伝統的な教育機関だけではなく、新鋭のプログラミング養成機関などから生まれている。また、国内でのVCの数が増加したことや海外の投資家からの関心が増したことで、仏スタートアップがファイナンスの機会を得やすい環境になってきている。そのほかにも、アクセラレーターやインキュベーターといったスタートアップ支援機関がここ数年で大幅に増えたことや、スタートアップ向けのテックイベントの規模が大きくなってきていることがフランスのスタートアップ・エコシステムの発展に寄与している⁴。

³ <http://tech.eu/inside/13434/european-tech-funding-report-2016/>

⁴ 参考にした文献の組織名・資料名・URL

図表 4 フランスの主要なスタートアップとエコシステム概観図



出所： 仏ベンチャーキャピタリストBartosz Jakubowski氏⁵

3.3 優秀な人材のスタートアップへの流入

フランスのスタートアップシーンが盛り上がっている背景の一つとして、優秀な人材がスタートアップに集まっていることが挙げられるが、これは若者のスタートアップに対するマインドセットの変化とそれに合わせて若者がスタートアップで働く環境が整ってきたという二つの面が寄与している。

前者に関して、フランスは日本同様、古くから高水準の教育システムを築いてきた。そのため、人々は失敗することを避けて大企業などの安定的な仕事を求め、スタートアップのようなリスクの高い仕事を回避する傾向にあった。しかし、近年の不景気で多くの大企業でリストラが起り、大企業ですら安定した職は保障されないという現実に直面し、また大企業が新卒採用をとりやめたことで、多くの若者が大企業からスタートアップに目を向け始めるようになった。こういった若者を中心とした心境の変化がスタートアップへの流入を増やしている。

後者については、まずスタートアップで働く上で必要なスキルが身に付く教育機関が台頭してきていることがあげられる。その一つの代表として挙げられるのはプログラミング養成学校である。例えば、フランスの教育を憂えた連続起業家のザヴィエル・ニエル氏が個人の資産を使って 2013 年に設立した授業料無料のコーディン

⁵ <https://bartoszjakubowski.com/mapping-of-the-french-startup-ecosystem-excl-startups-p-ed1293d4cc45#.zawhis9i1>

グスクール「42」などがあげられる。また、こういった新規のスクールだけではなく伝統的なフランスの高等教育機関などがスタートアップへの関心を高め、スタートアップやイノベーション関連の授業を開講しつつある。例えば、フランスを代表するビジネススクールの HEC Paris は「アントレプレナーとイノベーション」(Entrepreneurship and Innovation)という学部と同大学発のインキュベーション施設を開発した。そういった教育機関とスタートアップとの懸け橋となる人材サービスができたことも学生のスタートアップへの就職に貢献している。このような結果は、2015 年度には INSEAD と HEC Paris といったトップビジネススクールの卒業生の 5 人に 1 人はテクノロジー業界に就職するという動きに表れている。

3.4 豊富なスタートアップ向けのファイナンスの機会

スタートアップのエコシステムに不可欠な要素である資金調達の点において、EY 刊行の「EY Survey of Venture Capital in France, 2015」によると、フランスでは 2015 年だけで約 20 億ドルの VC による投資が行われ、ヨーロッパでイギリスに次ぐ VC エコシステムが整っていると評価されている。VC による投資だけではなく、大企業によるいわゆる CVC 投資も増加傾向にあり、2016 年度の第 3 四半期において、CVC 投資は全体のデールの約 20%を占めていた。さらに、フランスのスタートアップ投資の中で最も大きな役割を占めているのが、仏政府が援助している公的投資銀行の Bpi France である。

■ Bpi France

Bpi France は仏政府後援の公的な投資銀行であり、65 億ユーロのファンドを運用しており、2017 年までに 80 億ユーロの投資を行うことをミッションに掲げている。2015 年に行われた 52 件の投資は欧州で第 2 位のデール数であり、欧州の中でも最大規模の投資家といえる。Bpi France のフランスにおける役割は多岐にわたる。まずは、ビジネスアクセラレーター等のスタートアップ支援機関及びスタートアップに直接、投資をすることで、フランスでのスタートアップ投資に大きく寄与していることである。2015 年、Bpi France は仏政府が展開している「La French Tech」プログラムに加盟しているアクセラレーター及びインキュベーターに約 2 億ドルの投資を行った。スタートアップへの投資では、6 億ユーロのファンドを運用し、毎年 1 億ユーロ以上の投資を急成長しているスタートアップに行っている。また、投資以外に、シードステージのスタートアップを対象とした 1~3 万ユーロの小規模融資や、投資した企業にむけてのネットワーキングイベントの開催、さらに海外企業などの提携先候補紹介といった活動を行っている。

3.5 スタートアップをサポートする機関の台頭

仏スタートアップ・エコシステムの特徴の一つとして、エコシステムの中心的存在であるアクセラレーターやインキュベーターの他、スタートアップ向けのイベント実施機関や、スタートアップに焦点を当てたメディアなどが数多く生まれてきていることがあげられる。

ここ 5 年で勃興しているスタートアップ支援機関のアクセラレーター及びインキュベーターは仏スタートアップ・エコシステムの中でも大きな役割を担う。2010 年に初のアクセラレーター施設「La Camping」が開設されたのを皮切りに、2016 年 12 月時点でパリ市内だけでも 50 以上のインキュベーション・アクセラレーション施設が存在する。各施設は IoT、バイオテック、エネルギー、ブロックチェーンなど様々な業界・領域に特化していて、上手く住み分けされている。その中でも、現在世界中で注目されているのが、2017 年に竣工予定の世界最大規模

のデジタル産業インキュベーション施設の「Station F」である。

■ StationF

Station F は政府の投資ファンドの支援の下、上述した 42 の創設者ザヴィエル・ニエル氏主導によって設立される予定の世界最大のインキュベーション施設である。Station F が世界で一番大きいインキュベーション施設と呼ばれる所以は、旧駅舎を活用した 34,000 m²という広大な敷地を利用していることである。そのインキュベーション施設の中では、1,000 社を超えるスタートアップ、Kima Ventures を始めとした国内トップの VC、アクセラレーション施設、フェイスブックなどのグローバルな大企業などが入居し、様々なプレイヤーが集積することでスタートアップ・エコシステムを施設の中で作り上げる構想を持つ。施設内では、カンファレンスが可能なホール等のイベントスペースやミーティングスペースがあり、オープンイノベーションの機会が生まれる環境が整っている。起業家は、オプションで StationF 周辺に再開発された住居への入居可能、施設内の 24 時間オープンしているキッチンやバーを利用できるなど、常にビジネスに集中できる環境が用意されている。

図表5 StationF の構想図



出所： StationF

また、スタートアップのイベントやメディアなどもフランスでは最近伸びてきている。スタートアップイベントは国内では、ウェブ系のサービスを手掛けるスタートアップが集まるカンファレンス「Le Web」が有名だが、いずれも米国の国際家電ショーCESのような国際的な知名度はなく、海外からの注目度は低かった。そこで新たに、フランスのスタートアップシーンを盛り上げるイベントとして、仏政府後援の「Viva Technology」という大規模なテックイベントが 2016 年より開始した。そこでは、数多くのセッションやカンファレンスが催され、国内で急成長中のスタートアップがデモ発表を実施し、その他大企業によるブース出展や、海外のスタートアップや投資家など

が多く参加している。2016年には初年度にも関わらず、世界106ヶ国から合計4万5,000人の参加者が集まり、5,000社のスタートアップが参加するなど大きな成功を収めた。

イベントだけでなく、フランスのスタートアップ情報を発信するメディアも増加している。「Les Echos」といった既存の大手のテクノロジー系メディアだけではなく、フランスのスタートアップの情報に特化した「Rude Baguette」のようなメディアが、スタートアップ・エコシステムを牽引する若い起業家コミュニティのリーダーから発信されている。

3.6 仏政府によるスタートアップ・エコシステム促進策

国内でのスタートアップ・エコシステムを促進するために、仏政府は数々のサポートプログラムを展開し、法律面での規制緩和などに積極的に取り組んでいる。中でも、国際的に政府のスタートアップ・エコシステム強化の取り組みとしてユニークといえるのが「La French Tech」である。

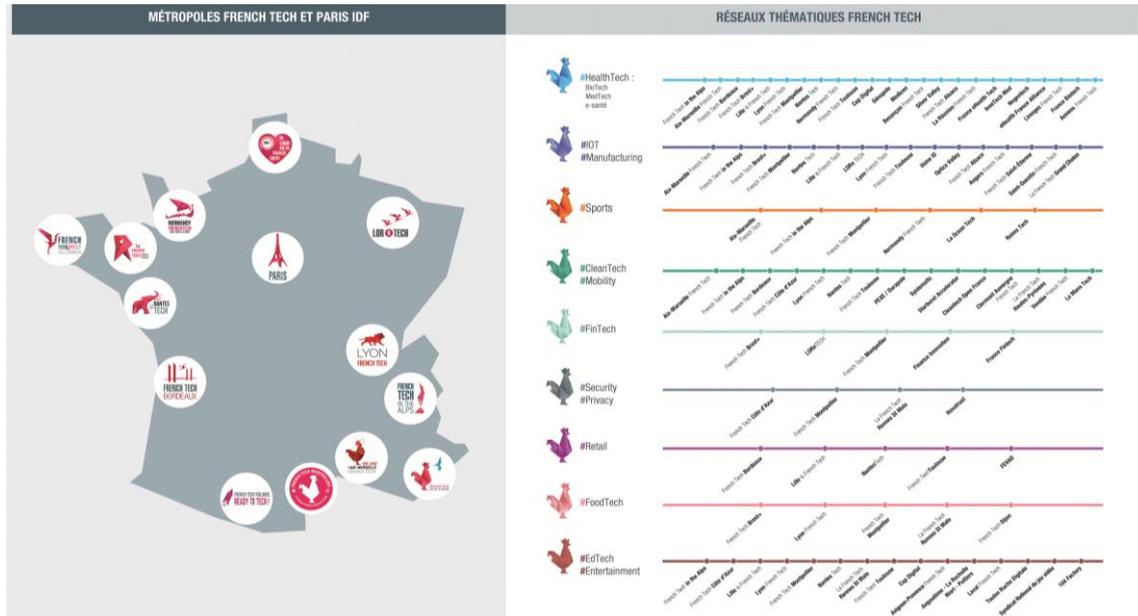
■ 「La French Tech」

「La French Tech」とは、①フランスのスタートアップ・エコシステムの強化、②VC投資およびアクセラレーターによるスタートアップの成長促進、③仏スタートアップの国際的なプレゼンスの向上という3つのミッションの下に、2013年11月から開始された仏政府主導の施策である。同取り組みにより、スタートアップ、メンター、エンジニア、デザイナー、大企業、投資家、メディア、政府関係者などが連携し合うエコシステムの中で、スタートアップの海外展開、財政的援助、海外投資家による対仏投資促進、フランス企業の国際的なプレゼンスを高める狙いがある。

(1) 仏スタートアップ・エコシステムの強化

スタートアップ・エコシステムを強化させる具体的な政府の取り組みとして、パリを含む14の都市(2016年12月時点)を地域経済活性化および都市デジタル化を推進する都市「La French Tech Métropole」に指定した。そして指定都市に、スタートアップ促進の関連施設や雇用の斡旋等の資金をBpi Franceを通じて援助している。また、「La French Tech」は、9分野(「バイオ、メディテックやヘルステックを含むヘルスケア」、「IoTと製造」、「エドテック」、「クリーンテックとモビリティ」、「フィンテック」、「セキュリティ」、「小売り」、「フードテック」、「スポーツ」)を重点テーマとして推奨し、それぞれのテーマに関して適する都市を「La French Tech Métropole」等の都市から採択し、それらネットワークの中で交流を促進する施策を打っている。

図表 6 La French Tech による指定の 14 都市と各テーマのネットワークに入っている都市一覧



出所： La French Tech⁶

(2) VC 投資およびアクセラレーターによるスタートアップの成長促進

「La French Tech」の VC 投資およびアクセラレーターによるスタートアップの成長促進の取り組みは、大きく 3 つに分けられる。それは、①Bpi France が運用するファンドによる 2 億ユーロまでのスタートアップ支援機関への投資、②「Bourse French Tech」と呼ばれる Bpi France によるシードステージのスタートアップに対しての 1~3 万ユーロの融資プログラム、③急成長しているスタートアップに対してのビジネス開発支援プログラムの提供である。

Bpi France が運用するファンドによる投資及び融資に関しては、先述のとおりである。③急成長しているスタートアップに対してのビジネス開発支援プログラムは「Pass French Tech」と呼ばれている。「Pass French Tech」に採択されたスタートアップは、このプログラムを通じて、Bpi France をはじめとした金融機関、知的財産保護機関や政府機関などから、アクセラレーターや海外の協業候補の紹介や融資など多方面のビジネス開発の支援を受けることができる。同プログラムを通じてスタートアップは、露出の増加、ビジネス開発及び行政手続きのサポート、政府認定の企業としてのブランディング、協業パートナーとの折衝などの機会を受けられる。

(3) 仏スタートアップの国際的なプレゼンスの向上

仏スタートアップの海外でのプレゼンスを向上させる施策としては、「French Tech Ambassador Program」、「French Tech Ticket」および「French Tech Hub」の 3 つがある。これらの施策を通じて、仏スタートアップの海外でのプレゼンスを向上させ、海外投資家及び多国籍企業からの対仏投資や多国籍企業との業務提携及び M&A を促進させることが狙いである。

⁶ La FrenchTech、<http://www.lafrenchtech.com/en-action/les-reseaux-thematiques>

■ 「French Tech Ambassador Program」

「French Tech Ambassador Program」とは、影響力を持つ起業家や投資家への独立したプロジェクトをファイナンスおよびメディアなどを通じて支援するプログラムである。例えば、世界的に有名な音楽と映画と新事業などのインタラクティブの祭典である SXSW では、「La French Tech」に選ばれた複数のスタートアップが展示会に出展する他、仏企業の講演会を設置、また国内のアクセラレーターとのミートアップのイベントを開催するなど、フランスのスタートアップ・エコシステムの認知度を向上させた。

■ 「French Tech Ticket」

「French Tech Ticket」は優秀な人材をフランス国内に集める目的で 2015 年に開始されたプログラムで、国外の起業家による仏国内でのビジネス立ち上げを奨励する。採択されたスタートアップは、事業資金の助成や「La French Tech」が提携しているインキュベーション施設のサービスを楽しむ他、滞在許可証の発行など様々な支援を受けることができる。第 1 回は、世界中 90 ヶ国から 1,372 件の応募があり、その中で 50 社のスタートアップに「French Tech Ticket」が付与された。

■ 「French Tech Hub」

「French Tech Hub」とは、世界各国の主要な都市を「French Tech Hub」として認定し、国内の「La French Tech」に採択されたスタートアップや指定都市と連携させることを通じて、フランスのスタートアップの国外進出、海外投資家からの投資機会の創出を目的としているプログラムである。2016 年 12 月時点で、東京やサンフランシスコなどを含む 22 の都市が認定されている。それらの認定都市では、スタートアップ向けのプログラム、VC とのミーティングやインキュベーターとの交流の機会、ネットワーキングイベントの情報などを提供している。

先述のような政府の施策によって、米ラスベガスで開催される世界最大規模の家電ショーCES で、2016 年時出展のフランス企業は約 200 社に上り、国際的なプレゼンスの向上に寄与しており、仏スタートアップ・エコシステムの盛り上がりが見られる。